

1日目 11月24日(金) ポスター会場 (5F 小ホール2)

ネットワーク・啓発活動

16:30~17:25

座長：田中 優司 (愛知教育大学 健康支援センター)

- PO-1 福岡県難病診療連携拠点病院 未診断・未指定難病相談支援センターの現状とこれからの課題
池田 由美 (九州大学病院 看護部 総合外来)
- PO-2 難病診療連携コーディネーターと難病相談支援センターによる
継続的な神経難病患者支援体制構築の試み
日根野晃代 (信州大学医学部附属病院 信州診療連携センター 難病診療連携コーディネーター)
- PO-3 患者団体と研究者・班の協力関係についての実施内容とその満足度の関連要因
—2022年度実態調査
江本 駿 (ASrid)
- PO-4 介護施設におけるパーキンソン病診療
伊藤 英樹 (拓海会 神経内科クリニック)
- PO-5 急性期病院である当院における難病診療の現状と課題
白石 渉 (小倉記念病院 脳神経内科)
- PO-6 心理職の教育機関における難病に関する教育に関する調査研究
田中優司 (愛知教育大学 健康支援センター)
- PO-7 高校生の持つ難病及び希少・難治性疾患のイメージと情報源によるイメージ形成への影響
江本 駿 (ASrid)

リハビリテーション

16:30~17:25

座長：浅川 孝司 (国際医療福祉大学 リハビリテーション科)

- PO-8 パーキンソン病患者の転倒自己効力感に関連する要因の検討
靄田 知也 (北祐会 北海道脳神経内科病院 リハビリテーション部)
- PO-9 脊髄小脳変性症と多系統萎縮症における認知機能障害の検証
木村 一喜 (村上華林堂病院 リハビリテーション科)
- PO-10 パーキンソン病および関連疾患患者に対する完全側臥位法の効果の後方視的検証
齋藤 正直 (村上華林堂病院 リハビリテーション科)
- PO-11 パーキンソン病患者の上肢機能に対する棒キャッチエクササイズの効果
高見 純司 (村上華林堂病院 リハビリテーション科)

- PO-12 人工呼吸器装着の ALS 患者に対する発声練習—「声を出したい」を叶える—
吉岡 由佳 (脳神経筋センターよしみず病院 リハビリテーション部)
- PO-13 姿勢反射障害による転倒が短期間の理学療法により減少したパーキンソン病患者 1 例
塚本 幸子 (村上華林堂病院 リハビリテーション科)

呼吸管理

16 : 30~17 : 25

- 座長：寄本 恵輔 (国立精神・神経医療研究センター病院 身体リハビリテーション部)
- PO-14 気管切開下での呼吸管理における吸引処置の工夫
—カフ上部低定量持続吸引の効果について—
橋口 有紀 (順天堂病院 看護・介護部)
- PO-15 ALS 在宅療養者における非侵襲的人工換気療法に対するイメージの実態
山口 未久 (京都府立医科大学医学部看護学科)
- PO-16 ALS 在宅療養者の非侵襲的人工換気療法導入の実態
荻田美穂子 (滋賀医科大学 臨床看護学講座)
- PO-17 当高齢者施設における筋萎縮性側索硬化症患者の呼吸管理
大宮 貴明 (つばさ式番館 (サービス付き高齢者向け住宅))
- PO-18 気管カニューレにより形成された肉芽がチェックバルブ機序により
重篤な呼吸不全を来した 1 例
山本 真 (大分協和病院)
- PO-19 静電フィルター付人工鼻の新型コロナ感染抑制効果についての検討 第一報
大分市訪問看護ステーション調査から
山本 真 (大分協和病院)
- PO-20 静電フィルター付人工鼻の新型コロナ感染抑制効果についての検討 第二報
大分協和病院における新型コロナクラスター分析結果
山本 真 (大分協和病院)

移行期医療、症例報告

16 : 30~17 : 25

- 座長：熱田 直樹 (愛知医科大学 神経内科)
- PO-21 脳神経筋疾患の専門病院における成人移行期医療に対する患者・家族への意識調査
稲田るり子 (東京都立神経病院 看護部)
- PO-22 SEIQoL-DW を用いた小児期発症神経系疾患患者とその家族に対する移行支援
大迫 美穂 (東京都立北療育医療センター 脳神経内科)

- PO-23 遺伝性血管性浮腫患者に対する外来看護師のコミュニケーションケアの役割
三沢千代三 (埼玉草加病院)
- PO-24 神経難病の発症前遺伝カウンセリングの在り方は変化しつつある
松島 理明 (北海道大学神経内科)
- PO-25 進行期 PD 患者の抑うつ症状に対する認知行動療法の効果の検討— 3 症例を通して—
吉田 純平 (北斗わかば病院 リハビリテーション部)
- PO-26 未診断時から介入を開始した副腎白質ジストロフィー療養者への難病看護師による
訪問看護実践
石川 武雅 (なな—る訪問看護デベロップメントセンター)
- PO-27 訪問リハビリの介入により残存機能の活用と生活の質の向上を図れた
神経ベーチェットの一例
藤田 備子 (京都市民連あすかい病院 リハビリテーション部)

多職種・多機関の連携

16 : 30~17 : 25

- 座長：木村 暁夫 (岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経内科学分野)
- PO-28 ALS 多職種協働ケア とある地域の Real と Ideal
藤田 拓司 (拓海会 神経内科クリニック)
- PO-29 筋萎縮性側索硬化症の看取りにおける難病協力病院・難病拠点病院連携の経験
駒井 清暢 (北陸脳神経筋疾患センター・脳神経内科)
- PO-30 在宅療養中の壮年期 ALS 患者の緩和ケアの検討
～専門病院と在宅関係職種との連携の課題～
田中亜由美 (大牟田病院 看護部)
- PO-31 パーキンソン病療養者への病院
—在宅チーム間の情報共有システム構築に向けた実態調査
大原 千園 (関西医科大学 看護学部・看護学研究科)
- PO-32 患者情報共有システムにおけるヒトによるタグ付け機能と AI によるリスク検出の比較
奥村 学 (信州大学医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科)
- PO-33 神経難病診療の多職種連携のための情報共有ツールの作成の試み
神本 綾乃 (脳神経センター大田記念病院 地域医療連携室)
- PO-34 難病療養支援機関間の連携の局面における取組みの特徴
—テキストマイニングによる特徴の分析—
原口 道子 (東京都医学総合研究所 難病ケア看護ユニット)